※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	くらしと家庭	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭総合で学習した内容について実習を中心に深く掘り下げ、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題を様々な実習や体験を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。他者の意見を聞き、多様な考え方を学び、自分の考えや QOL の向上に繋げましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

○生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)福祉、衣食、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	衣食住、保育及び福祉などに関する、生活を主体的に営むための総合的な知識を習得するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出してそれぞれのライフスタイルに合わせた課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する能力を身に付けている。	衣食住、保育及び福祉などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食生活・子どもと高齢者の現状	○食を取り巻く現状と栄養素 ・実習1(調理の基本) ・実習2(西洋料理①) ・実習3(出張授業) ○子どもの発達の理解 ・実習1(知育玩具の制作) ○高齢期の心身の特徴 ・実習1(高齢者体験)	a: 栄養、食品、調理の基礎、子どもの発達、高齢者の現状について実習・体験を中心とした学習を通して科学的に理解し、必要な知識を身に付けている。 b: 食事と健康、子どもの発達、高齢者の現状について、課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c: 食事と健康、子どもの発達、高齢者の現状に関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・実習のワークシート ・実技テスト ・提出作品	・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・授業観察 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答
2学期	衣食生活の応用、子どもと高齢者の施設見学	○栄養素の復習 ・実習4(日本料理①) ・実習5(西洋料理②) ・実習6(中国料理①) ○衣生活の文化と知恵1 ・実習1(手芸) ○子どもの生活の特性 ・保育施設見学事前学習 ・保育施設見学 ○高齢者の自立 ・高齢者施設見学事前学習 ・高齢者施設見学	a: 栄養、調理の応用、衣生活、子どもの特性、高齢者福祉について実習・体験を中心とした学習を通して科学的に理解し、必要な知識と技術を身に付けている。 b:食事と調理、衣生活、子どもの特性、高齢者福祉について、課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c: 食事と調理、衣生活、子どもの発達、高齢者福祉に関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・実習のワークシート ・実技テスト ・提出作品	・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・授業観察 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答

※令和４年度以降入学生用

3学期	ライフスタイルと衣食生活・子どもと高齢者の生活	○食事のマナー ・実習7(西洋料理③) ・実習8(製菓) ○衣生活の文化と知恵2 ・実習2(手芸) ○子どもの生活の理解 ・保育施設見学事後学習 ・実習2(調理実習) ○高齢者の生活の理解 ・高齢者施設見学事後学習	a:生涯を通して健康な食生活を営むために必要な食品の知識や、調理の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 健康で快適な衣生活、子どもと高齢者の生活について実習・体験を中心とした学習を通して科学的に理解し、必要な知識と技術を身に付けている。 b:衣食生活と子どもと高齢者の生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:衣食生活、子どもと高齢者の生活について、自己のライフスタイルと関連付けて関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・実習のワークシート ・実技テスト ・作品提出	・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・授業観察 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度